

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

は人の本来の居場所は天にあると宣言することで、この世のしがらみから自由になるように促しています。21節は自己に捕らわれて生きるわたしという小さな存在がイエスのように変えられるという希望を語っています。

日本発祥の心理療法に森田正馬(1874~1938年)が提唱した森田療法があります。森田療法によれば、現代人は過度に自己に執着してしまうことで、内面の不安に捕われてしまっており、その解決のためには不安を抱える自分があるがままに受け入れることが大切だと説いています。2年以上も続くコロナ時代は、先が見えないこともあり、わたしたちをいつも以上に不安や孤独に直面させています。パウロと森田療法に共通するのは、自己に捕らわれている状態からの自由、すなわち「我執から解き放たれる」ことにあります。学生のみなさんがコロナの状況で不安や孤独を感じるのには当然です。不安な自分や弱い自分をありのままに受け入れ、アドバイザーの先生やゼミの先生、大学やバイト先の友達・先輩・後輩などと一緒にその不安や孤独を分かち合い、心の重荷を下ろしてみてください。

#### 【2022年度春期キリスト教教育強調週間】

- ・日時：2022年5月24日(火)10時40分
- ・聖書：テサロニケの信徒への手紙一 5章16-18節
- ・主題：「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。——酪農学園大学で学べる大切なこと」
- ・講師：宮庄 拓先生(獣医保健看護学類動物生命科学ユニット講師・日本キリスト教団堺教会員・獣医学博士)

代々のクリスチャンホームで育った篤信のクリスチャンである宮庄先生に講師をご担当いただき、愛唱聖句であるIテサロニケ書5章16-18節から、先生の宗教観・人生観をお話しいたします。是非ご出席ください。

#### 【ウクライナ支援募金のお願い】

すでにお知らせしていますように、酪農学園では、ロシアによるウクライナ侵攻の停戦を祈りつつ、具体的な支援として、ウクライナ支援募金を実施しています。詳細は各所の掲示やUNIPAの配信等でご確認ください。

- ・期間：2022年4月25日(月)~5月20日(金)
- ・募金箱設置場所(大学)：学群事務室、フィールド教育研究センター農事課、学生サービスセンター2階(教務課カウンター)

#### 【次回の礼拝(動画の配信)】2022年5月17日(火)10時40分

聖書：フィリピの信徒への手紙4章1節  
奨励：「かけがえのない人へ」小林昭博先生(宗教主任)

## 【大学礼拝週報】2022年度 第4号(前学期第4号)

2022年5月10日(火)午前10時40分

リモート礼拝(酪農学園大学 黒澤記念講堂)

《大学礼拝》

〈礼拝動画の配信〉

前 奏

讃美歌 讃美歌21 471番(勝利をのぞみ)

聖 書 フィリピの信徒への手紙3章18-21節

奨 励 「我執から解き放たれる」 小林昭博先生(宗教主任)

祈 り

讃美歌 讃美歌21 326番(地よ、声たかく)

報 告

後 奏

#### 【本日の聖書】フィリピの信徒への手紙3章18-21節

18 何度も言ってきたし、今また涙ながらに言いますが、キリストの十字架に敵対して歩んでいる者が多いのです。19 彼らの行き着くところは滅びです。彼らは腹を神とし、恥ずべきものを誇りとし、この世のことしか考えていません。20 しかし、わたしたちの本国は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、わたしたちは待っています。21 キリストは、万物を支配下に置くことさえできる力によって、わたしたちの卑しい体を、御自分の栄光ある体と同じ形に変えてくださるのです。

#### 【メッセージ】「我執から解き放たれる」

フィリピ3:18-21は自己中心的な生き方からわたしたちを解放しようとするパウロの思いが記されています。18節は十字架に象徴される弱さを引き合いに出すことで、強さを誇る人間の傲慢さに釘を刺しています。19節はこの世のしがらみに捕らわれ、自己に執着する人間の行き着く先は滅びだと述べています。ここで「滅び」と訳されているἀπώλεια(アポーレイア)には「喪失」という意味もありますので、自己に執着する生き方は最終的にはその人から全てを奪ってしまうと言っているのかもしれない。20節